



カラオケこっそり選手権では、老若男女が十八番を披露

保育園児と小学生が鳴子を賑やかに響かせてくれました♪

機械が出した最高得点者を最後に発表!



PTA ブースは、先生も参加して一緒に調理、販売してくれました!今年も一丸となって頑張りました!



町内会の出店も、大賑わい!暑い中飛ぶように売れていました。



幻想的な竹灯籠に思わずうっとり...



今年の里山まつりのテーマは、私たち小学生も考えて投票しました!今からお祭りが楽しみ♪

卒業したら帰ってきます!

youth の決意に思わず涙



まちづくり計画を市長に報告

6月13日、第2期「久重のまちづくり計画」策定の報告会が高知市役所特別応接室にて開かれ、岡崎市長、中澤副市長、市民協働部長・副部長など多くの行政担当の方々に対応してくださいました。

久重地域からは大人6名、久重 Youth の高校生6名と小学生1名、アドバイザーの畠中洋行さんが出席しました。久重 Youth は高校3年生が多く、進路が分かれる来年度以降の地域への関わり方を言葉にしてくださいました。「大学で勉強したことを活かし、必ず帰ってきて地域をより

良くする活動がしたい。」「今のところ高知に帰るつもりはないけど、自分が育った故郷はなくならないでほしい。」

「就職して高知に残り、地域のために活動したい。」「母に連れられて参加した策定会議だったが、周りの大人がちゃんと自分の意見や案を聞いてくれ、このような形になっていったのが嬉しかった。」など力強い言葉に思わず涙ぐむ大人もいました。岡崎高知市長からは、「しんどいことがずっと続いていくと長続きしない。楽しみを織り交ぜながら活動してほしい。また、一緒に頑張りましょう。」とエールをいただきました。

コミュニティスクール始まる

— 久重小

皆さん、コミュニティスクールをご存じですか!? コミュニティスクールとは「学校運営協議会を設置した学校」の事です。学校と地域住民などが力を合わせ、子どもたちのよりよい環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」を

目指すための仕組みです。学校運営協議会は地域住民や保護者などから構成されます。久重小学校でも、今年4月より運営協議会が立ち上げられ、活動が始まりました。連携協議会からたくさんの役員が参加して積極的に運営にかかわることとしました。

今、久重 natural と久重 youth、久重の子どもたちが躍動しています。「あかるいまち」7月号にその活躍が報道されます。7月には高知県中山間地域再興ビジョン策定のために久重地域の大人と子どもとの意見を聞きに県の担当課が里山にやってきました。4月に子ども基本法が施行されました。(基本理念)で、全ての子どもについて「意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画す

る機会が確保される」ことが定められました。それは、国や地方行政だけの責務や役割ではなく、地域もまたその認識をしつかり持つて地域づくりに取り組まなければならないと考えています。まちづくり計画を子どもたちと一緒に作り、今後の地域づくりを子どもたちとともに進めようとしている久重の取り組みは、まさに子ども基本法の精神を实践するものではないでしょうか。

久重のわかもの

久重 natural

躍動

子ども基本法とともに

久重 youth

子どもを中心に考え、大人たちがチーム90となり、子どもたちの心も身体も育んでいきたいですね!

久重の里山らしい授業ができたらいね。特認校制度で来ている子どもも、地元に住んでいる子どももみんなが久重を好きになってくれるようなことを考えて、運営協議会の中で話し合っていきたいと考えています。今まで行ってきたタケノコ掘りや川の学習など、地域の方々の授業は引き続き継続されます。久重にはまだまだ魅力を持った人材がいるはず!そういった方々にも声をかけ、学校、地域、保護者が一体となり「特色のある学校づくり」を進めて行くことができればいいと考えています。

